

平成 17・10・04 関東産保第 9 号

平成 1 7 年 1 0 月 6 日

関東液化石油ガス協議会
会長 清水 宣彦 殿

関東東北産業保安監督部長
日 高 俊 備



平成 1 7 年度 L P 消費者保安月間の実施について

平素は、液化石油ガス消費者保安行政にご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、当省では昭和 6 0 年度から毎年 1 0 月を L P ガス消費者保安月間として定め、L P ガス消費者保安対策に焦点を当て、なお一層の保安啓発の推進を図ることとしております。

貴団体におかれましては、従来から L P ガス消費者保安啓発の推進に努めてこられたことと存じますが、本年度につきましても、上記の件につき、関係団体ともご協力の上、別紙要綱に従って L P ガス消費者保安啓発活動等の推進に努められるようお願いいたします。

また、貴団体の会員に対して、本件実施の趣旨に関する周知徹底を行うとともに、L P ガス消費者保安啓発活動等の効果的な実施のため、指導方よろしく申し上げます。

平成17年度LPガス消費者保安月間実施要綱

平成17年9月
原子力安全・保安院

1. 趣旨

LPガス事故の発生件数については、昭和50年代のピーク時に比べ大幅に減少しているものの、平成16年の事故件数は直近10カ年で最多であった昨年について多く高水準となっている。このうち、全体の約3割は燃焼器具や元栓類の誤操作などの消費者ミスに起因するものである。また、CO中毒による事故は死者数はゼロであったものの6件発生しており、換気の不徹底、燃焼器具交換誘導事業の対象となっている古い器具に起因した事故であった。

こうした中、消費者の保安確保の一層の充実及び重大事故の早期撲滅の観点から本年5月にLPガス販売事業者等に対する保安対策指針を策定し、LPガス関係団体を通じて傘下の事業者等に指導・周知を要請したところである。

このようなLPガス消費者保安対策をより効果的・効率的に実施する観点から、本年度もLPガスの需要増大期を迎える10月を「LPガス消費者保安月間」とし、原子力安全・保安院、産業保安監督部、各都道府県、高圧ガス保安協会及びLPガス関係団体が一体となって、消費者等を対象に各種の保安啓発活動等を集中的かつ重点的に実施することとする。

2. 実施時期

平成17年10月1日から平成17年10月31日まで

3. 実施重点項目

本年度は以下の点について重点的に実施する。

- (1) LPガス設備を安全・安心に使用するために、消費者の保安意識の醸成の観点から保安啓発活動等を重点的に実施する。
- (2) CO中毒事故防止のため、不完全燃焼防止付器具の普及を促進すること及び一般消費者等に対し燃焼器使用の際には換気に十分注意する等、CO中毒防止のための一般消費者等への保安啓発活動等を重点的に実施する。

4. 実施事項

- (1) 原子力安全・保安院においては、「平成17年度液化石油ガス販売事業者等保安

対策指針」に掲げた各種保安対策について、消費者に係る事故を防止する観点から、新聞を始めとする各種広報媒体を通じ保安啓発活動等を実施する。

また、各産業保安監督部に対しては各種保安活動を実施するよう指導し、各都道府県、高圧ガス保安協会及びLPガス関係団体に対しては各種保安活動を実施するよう協力を要請する。

(2) 原子力安全・保安院は、本保安月間において以下の事業を実施する。

また、LPガス安全委員会（LPガス関係団体が参加した保安対策の実施団体）に対しては、以下の事業を実施するよう協力要請する。

- ①全国紙、ブロック紙、地方紙を活用した啓発活動
- ②電車内つり広告による啓発活動
- ③ポスター、リーフレットによる啓発活動
- ④インターネット等を活用した啓発活動

(3) 原子力安全・保安院は、本保安月間において消費者保安活動に貢献した販売事業者等を対象に表彰式を実施する。

- ①開催日及び会場 平成17年10月27日（木） 如水会館
- ②参加人数 約300名を予定
- ③内容 原子力安全・保安院長表彰伝達式等

(4) 原子力安全・保安院は各都道府県、高圧ガス保安協会及びLPガス関係団体に対して、消費者保安意識の高揚を図るため、各地域においてイベントやキャンペーン活動等を積極的に実施するとともに、相互に協力を行うよう要請する。

(5) 原子力安全・保安院は販売事業者等に対して、消費者との接触の機会をできるだけ作りだし、安全器具及び集中監視システムの普及促進等に努めるとともに、販売事業者が行う保安業務の内容、消費者が行うLPガス設備の維持管理項目及び方法を周知するため、本保安月間において消費者等に対して各種保安活動を実施するよう、各LP関係団体を通じ協力を要請する。